



**平和統一運動次世代リーダー育成のための
「私から始まる平和統一大賞」 青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

■「私から始まる平和統一大賞」とは

‘ 為に生きる ’ 神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、2024 年より平和統一運動を同世代や後に続いていく世代の力とするために、この賞を創設いたしました。

■今年の募集テーマは「喜び」

ちょっとした小さな喜びから、大きな喜びまで、自分が体験してきたエピソードが、今の時代に合う平和統一運動にどのように役に立つことができるのかを問いかけます。家族や友人・知人との出会い、大自然との出会いなど、様々なエピソードを募集いたします！

応募条件	平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。
募集期間	青年スピーチ部門： 募集日程及び大会日程は、ホームページ及び機関誌『平統解放』にてお知らせ致します。 ※ 第1連合会（北関東・東京・南関東）、第2連合会（北海道・東北）、第3連合会（東海、北信越）、第4連合会（近畿・中国・四国）、第5連合会（九州・沖縄）において、2026 年 6 月 14 日（日）まで地方予選を行い、それぞれ代表1名を選抜し、本部に映像提出。 会員及び一般部門 エッセイ募集： 2026 年4月1日（水）～2025 年6月 14 日（日）
スピーチ 原稿規程	【青年スピーチ部門】 5分以上7分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。 【会員及び一般部門 エッセイ募集】 800 字以上 3000 字以内、1人1点。 ※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。
応募方法	Word ファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。郵送、FAX での応募はご遠慮いただいております。
発表	2026 年6月下旬 ホームページにて公開。 入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。 両部門の大賞受賞者は、7月4日東京都内の記念行事でスピーチします。 その交通費は本部負担。



題名: 真のお母様からのプレゼント

お名前: 蔡弘基

(下記より本文をご記入ください)

私は今、韓国にある鮮文大学に留学し神学を学んでいます。昨年、一年間語学院に通いました。その中で私が感じた兄弟姉妹たちの愛を通した喜びについて共有したいと思います。

私が語学院に通っている時、とても辛い時期がありました。なんのために生きればいいのかわからない。そんな時期がありました。その時はちょうど真のお母様が拘束される、そのような時期でした。もちろんその事実には到底受け止めることのできないほどの悲しみと憂鬱感を私に与えました。しかし、その苦しみは違う苦しみに塗り替えられてしまいました。私はその事件以降、真のお母様に関するニュースや記事をたくさんみるようになりました。その記事の中の一つに真のお母様に対する悪い内容の記事がありました。その内容に私はとても混乱しました。どのように解釈すればいいかわかりませんでした。どのように解釈すれば真のお母様を正当化できるのかわかりませんでした。心に大きな穴が空いたような、全てが崩れ落ちてしまうような、そんな感情に襲われました。私は真のお母様のために生きたいと思い、その思いだけ一つを胸に韓国にまで来て歩んでいました。その先の人生も全て真のお母様のために生きる人生を歩みたいと努力していました。なのにその記事を見てから私の中心にあった真のお母様が揺らいでしまいました。その小さな揺らぎは私を暗闇におとしました。私は怖くなり祈りました。“ごめんなさい。真のお母様を分からなくなってしまうまい。しかし、心配しないでください。決して私は真のお母様の元を離れないでしょう。また、真のお母様をわかるようになる日が来るでしょう。どうか待っていてください。”このようにお祈りしました。しかし、その祈りの内容とは裏腹に私はどんどん真のお母様が分からなくなっていきました。なんのために生きればいいのか。私が歩んでいる道が正しい道なのか。何も分からず、どんどん落ち込んでいきました。しかしそれでも私がその真の暗闇の中を乗り越えられたのは兄弟姉妹たちの愛があったからです。私は毎日気力もなく、その悩みを誰にも相談することができませんでした。もし相談したその兄弟姉妹も私のように暗闇の中に落とすことになってしまうかもしれないと思ったからです。しかし、その様子を見た兄弟姉妹たちが私のことをたくさん心配してくれました。“どうしたの？”“大丈夫？”“何かあったの？”と声をかけてくれました。その度に“何もないよ”“大丈夫”と返していました。時にはそんな私にお菓子をくれたり、コーヒーを淹れてくれたりすることもありました。その一つ一つの心配や励ましの行動は暗闇の中の光になってくれました。しかし、悩みは晴れることはありませんでした。そんな中私に大きな変化をもたらしてくれる事がありました。悩みを抱えながらもいつものように精誠条件を立てて夜懇切に祈禱室でお祈りをしていました。その祈禱が終わった後、スマホを見ると二人の姉妹からとても長い分量のメッ



セージが届いていました。私を心配し**激励**する**内容**でした。私はそれを見てとても感動しました。その**内容**を以下に載せたいと思います。

“お疲れさまです！

このメッセージを送るかどうかが**悩み**ましたが、つらい思いをしている生徒がいるたびに、「その生徒のために祈ろう、思いやろう」と**真**っ先に言う【名前】生徒のことを思い浮かべて、**勇気**を出して送ります。^^

実際にどのような**状況**を**経験**しているのかはよく分かりませんが……信仰生活をしていると、望んでいなくても**変**な考えが浮かんたり、心が**揺**らいだりすることがありますよね。

でも、私から見ると、【名前】生徒は誰よりも**純粋**な心で精誠を捧げている生徒だと思います。そんな姿を見て、私もたくさん**学**ばせてもらっていますし、「私もあのようにになりたい」と何度も思いました。

そして何よりも、天の父母**様**はその心をすべてご存じでいてくださり、私たちの心が一時的に**揺**らぐ時でさえ、**変**わることなく待っていてくださる親でいらっしゃるではありませんか。

実は、このような時間こそが、私たちの信仰の根をより深く下ろすことのできる**機会**なのだと思います。信仰生活を心から**真剣**に、熱心に**歩**めば**歩**むほど、このような冬のような時期が訪れるのかもしれない。

ですから、どうかあまりご自分を責めないでください。そして、天の父母**様**の愛の中で、少しずつ回復していかれることを心から願っています。🌿🍀💧”

“【名前】生徒 🌟🌟

精誠を**一緒**に捧げてください、ありがとうございました^^

毎日毎日、誰よりも**真**のお母**様**のために精誠を捧げ、そして誰よりも先に私たちのために生きている姿を見て、とても感動しました。

そして、私もそのような生活を**実践**しなければならないな、と考えることができました🙏

今の**状況**は、見方によっては暗く、希望がないように感じることもあるかもしれません。

しかし、お母**様**はどのような**状況**の中でも希望を失われたいと思います🌟🌟



たとえお母様から遠く離れてしまった子女であっても、あるいはお母様を批判する子女であったとしても、お母様はその悪い部分をご覧になるのではなく、100%信じる心を持って、どの子女も愛し、赦してくださいます。

お母様のように、信仰の炎が燃え続けるように、私たちも信じる心を持って歩んでいけたらいいですね🌟

ホンギ生徒が無理をしていないか、いつも心のどこかで気にかけています🐱

もし何かあったら、いつでも話してくださいね🍀

同じく UPA に入った生徒として、いつも応援しています！！💪🌟”

私はこのメッセージを読んだ後、気づいたことがあります。それは真のお母様のおかげで自分が今ここに生きているということです。私が韓国に来たことも真のお母様に出会い導かれ韓国に来るようになりました。もっと言えば私がこの世に生まれることができたのも真の父母様の祝福があったからです。それは韓国で共に歩む兄弟姉妹たちも同じでした。だから、今韓国でとても愛らしくて大切な兄弟姉妹たちと毎日歩み生きることができるとも全て真のお母様のおかげだったということに気づきました。私の悩みは根本的にはその時はまだ解決していなかったと思います。それでも何があろうと真のお母様のおかげで今の幸せな自分があることに気づいた時に私はもう一度真のお母様のために生きていこと、どんなことがあろうと真のお母様のことを信じ歩んでいこうと決心することができました。

私はこの経験を通して、天の御父母様と真の御父母様は私がたとえ不信したりしたとしてもこのように兄弟姉妹を通して私に愛を伝え、また私が戻って来れるように導いてくださるのだということに気づくことができました。私が真のお母様を分からなくなってしまった時も真のお母様は私を愛してくださっていました。それを伝えてくれた兄弟姉妹たちは真のお母様がくださったプレゼントだと思います。兄弟姉妹たちは何よりも大きな喜びを与えてくれる最高のプレゼントです。